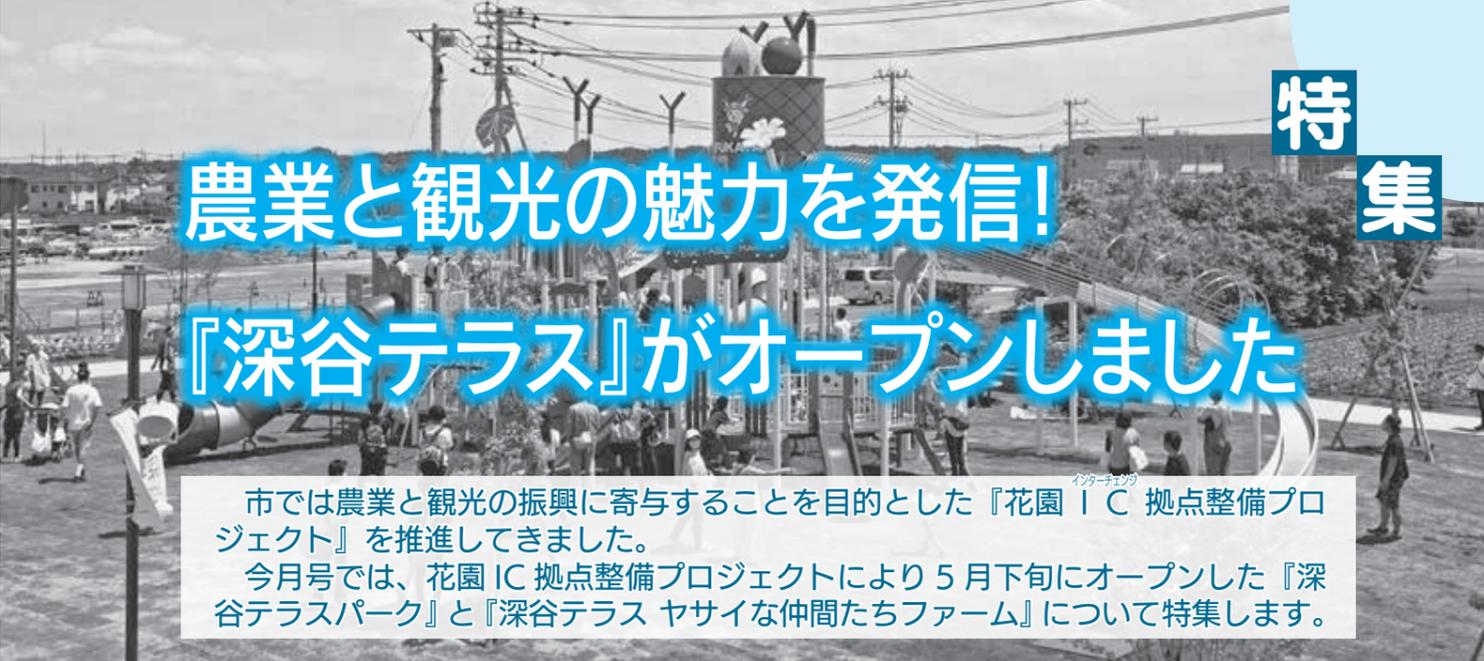


農業と観光の魅力を発信!

『深谷テラス』がオープンしました

市では農業と観光の振興に寄与することを目的とした『花園IC拠点整備プロジェクト』を推進してきました。

今月号では、花園IC拠点整備プロジェクトにより5月下旬にオープンした『深谷テラスパーク』と『深谷テラス ヤサイな仲間たちファーム』について特集します。



深谷の魅力を発信する総合施設『深谷テラスパーク』

①円形広場

マルシェなどのさまざまなイベントが開催できる、直径40mの広場。大階段の先には『ヤサイな仲間たちファーム』があります。

②管理棟

深谷の農業や観光を大型デジタルサイネージで学べます。屋上は秩父・群馬方面の山々を一望できるパノラマデッキがあります。

③じゃぶじゃぶ池

小さなお子さまも安心して水遊びが楽しめる『じゃぶじゃぶ池』。滝が流れるような仕掛けやプチ噴水もあります。

④ベジタブルマーケットランド

深谷の野菜やチューリップをモチーフにした2つの大型遊具を設置。『深谷テラスパーク』だけのオリジナルデザインです。

※その他、バーベキュー場などの施設があります。



農業と観光の振興を展開! 『深谷テラス』

『深谷テラス』がオープン!

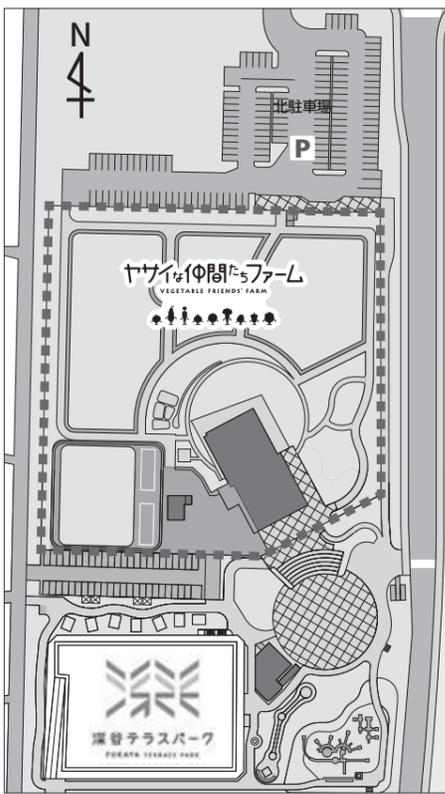
市が推進している『花園IC拠点整備プロジェクト』は、広域からの集客を行う今秋開業予定の『ふかや花園プレミアム・アウトレット』(三菱地所・サイモン(株))と、農業と観光を振興する取り組みを展開する『深谷テラス』から成り立っています。

今回オープンしたのは、『深谷テラスパーク』(深谷市)と『深谷テラス ヤサイな仲間たち

ファーム』(キューピー(株))です。『楽しい』と『おもしろい』で何度も訪れたくなる街『深谷』へ

『深谷テラス』は、『深谷テラスパーク』で深谷の『楽しさ』を、『深谷テラス ヤサイな仲間たちファーム』で野菜の『おいしさ』を味わうことができる場所です。市では、この場所を拠点とし、深谷を訪れるたびに好きになり、何度も訪れたいくなるような農業と観光の振興に取り組んでいきます。

▼『深谷テラス』全体図



『花園IC拠点整備プロジェクト』とは?

日本有数の農業生産地である深谷市。深谷市が、これからも農業が盛んな、魅力あるまちであり続けるためには、深谷の強みを生かし農業と結びついた、深谷市らしい観光を発信していくことが必要です。そのため市では、都心からのアクセスの良さを生かした花園ICの近接地にアウトレットモールを中心とした観光拠点を設置し、市外や県外から訪れる人が市内全体を回遊することで、深谷の農業と観光の振興に寄与することを目的とした『花園IC拠点整備プロジェクト』を推進してきました。このプロジェクトにより、地域産業の活性化のほか、税などの増収による自主財源の確保や、雇用の創出などが期待されています。



楽しく遊べる県北・秩父地域の情報発信拠点! 『深谷テラスパーク』

『深谷テラスパーク』は、イベントなどが開催できる円形広場、水遊び場の『じゃぶじゃぶ池』、深谷の野菜や花をモチーフにした大型遊具があり、大人も子どもも楽しみながら、深谷市の魅力に触れられる施設となっています。

また、管理棟にも、深谷市の情報と、観光連携の協定を結んでいる県北や秩父地域の市町村の情報

を楽しめる、さまざまなコンテンツが用意されています。室内では各種パンプレットのほか、モニターで、360度の動画を自由に操って深谷の農業や観光地を体験できる、VRコンテンツが楽しめます。さらに、円形広場に面した大型デジタルサイネージでは、映像を通して、各市町村の魅力を紹介しています。

来場者インタビュー

『深谷テラスパーク』はどうですか?

『アウトレットに隣接した、子どもたちも遊べる施設がオープンする』というインターネットの記事を見て来ました。子どもたちも『じゃぶじゃぶ池』や遊具で楽しく遊んでおり、とても喜んでいました。

私たちは市外に住んでいますが、なかなかこういった施設は近くにないのでありがたいですね。



▲市外から来場した岡本さん家族

今後はイベントやマルシェ、レストランなどにも行ってみたいと思います。

特集 農業と観光の魅力を発信!『深谷テラス』がオープンしました

野菜の魅力を体験して好きになれる複合施設 『深谷テラス ヤサイな仲間たちファーム』

『キューピー(株)』の野菜への思いと『深谷』の目的を実現する場所

『深谷テラス ヤサイな仲間たちファーム』は、キューピー(株)の社内公募制度において採択された、ある一人の従業員の『野菜のことを広く発信したい!』という思いから生まれたプロジェクトです。平成27年、キューピー(株)はそれを実現する場所として、市が行った深谷テラスの事業者の公募に応募します。

審査の結果、キューピー(株)の提案は、農業と観光の振興に寄与することが評価され、平成28年に市と基本協定を締結しました。その後、開業に向けての準備を経て、5月29日にいよいよオープンとなりました。

深谷産野菜の魅力を伝えられる絶好の立地

深谷テラスは、『都心からのアクセスの良さ』、『農業王国として持つ野菜のノウハウ』、『アウトレットモール集客力』の3点を運動させることで、県内外の多くのかたに深谷産野菜の魅力を伝えることができる、絶好の立地です。

この場所に、『深谷テラス ヤサイな仲間たちファーム』がオープンしたことで、深谷の野菜に興味を持つきっかけが増えることとなります。現在市では、市内を『野菜が楽しめるテーマパーク』に見立てて観光地とする『ベジタブルテーマパークフカヤ』を進めており、その構想を推進する上でも、相乗効果が期待できます。

体験『食べる・見る・触る』で伝える深谷野菜の魅力

『深谷テラス ヤサイな仲間たちファーム』は、『食べる』、『見る』、『触れる』などの体験を通じて、野菜について学び、おいしさを味わうことができる施設です。

『野菜教室』や『体験農園』では、野菜そのものを知り楽しみ、『レストラン』では、地元野菜などを使った料理を堪能することができます。また、『マルシェ』では、地元

運営会社『深谷ベジタブルコミュニケーション(株)』社長にインタビュー

野菜に関わるすべての『ヤサイな仲間たち』がつながるような場所にしていきたい

オープンしてから連日多くのかたにご来場いただき、料理なども好評をいただいています。今後、この施設が長い間しっかりと地元に根付いて、地元の皆さんから認められる、勤めてもらえる、親しんでもらえる場所にしていきたいです。また、この施設は生産者やお客様だけが集まる場所ではなく、野菜に関わる農機具や流通業界のかた、料理をするかたなどすべての『ヤサイな仲間たち』が集まって、語って、つながるような場所にもしていきたいです。そうした中でどんなことができるのか、ニーズに合わせながらこの施設を育てていきたいと思っています。



深谷ベジタブルコミュニケーション(株) 代表取締役社長 海老沢智幸さん



④触って食べて五感で学べる『野菜教室』



シェフや野菜ソムリエなどの資格を持った講師が、野菜の魅力を伝えるイベントの実施を予定しています。※新型コロナウイルス感染防止のため、『野菜教室』は当面の間開催を見合わせています。

①いのちと彩りを感じられる『体験農園』



自然の恵みで野菜という命が育まれるすごさや食べることの大切さを感じられます。年間100種類ほどの野菜の栽培を予定しており、季節ごとの旬な野菜の収穫体験ができます。収穫した野菜はお持ち帰りできます。

②食べ頃や食べ方が分かる・選べる『マルシェ』



地元の旬な野菜や果物を50種類以上取り揃えており、『一番おいしい食べ方』や『無駄なく使いきる方法』などを野菜ソムリエの資格を持ったスタッフなどから提案します。

③旬の恵みに出会える・幸せになれる『レストラン』



グランドメニューを設けず、その日に入ってくる新鮮な野菜たちを主役に、その都度メニューを考えます。旬の野菜や、旬の食材の魅力を引き立てる料理を提供します。

深谷テラスへ行ってみよう!

『深谷テラス』へのアクセス

お車で越したかた
国道140号バイパス『永田』の交差点を西へ曲がり、『ふかや花園駅入口』の交差点を直進。駐車場は無料。

電車でお越したかた
秩父鉄道『ふかや花園駅』下車徒歩約4分

※隣接する『ふかや花園プレミアム・アウトレット』は、今秋に開業予定です。

アクセスMAP

